

オイスカの農産物が、学校給食の食材に！ — オイスカ中部日本研修センターの一押し —

オイスカ中部日本研修センターにとって本年度は画期的な年となりました。みよし市が小山市長の発案でオイスカの生産物を学校給食に使っていただくことが出来ました。

これは、オイスカにとってとても嬉しいビッグニュースです。半年ほど前から小山市長の提案でオイスカの自然栽培の生産物をみよし市の子供たちに提供してもらえないかという思いがけないお話がありました。もちろん、オイスカとしては「喜んで」と即答させていただきました。

オイスカは、職員が研修生に「食の安全を第一に」と指導しながら米、野菜、卵の生産をしていますので学校給食の食材としては自信をもって提供できます。

本年、5月25日(金)にみよし市の学校給食の中でオイスカの大根と人参を使ったサラダとしてみよし市の全小中学校保育園約2000人に提供されました。

当日はみよし市の三吉小学校では3年生の児童とオイスカ研修生の交流会も実施され楽しい国際交流会も開催されました。当日の様子は、中日新聞でも大きく取り上げられて報道していただいたことも感謝です。

この度の素晴らしい提案をして頂いたみよし市の小山市長に深く敬意を表したいと思います。

小山市長は、昨年オイスカ愛知県支部がウクライナの人道支援の募金をお願いした際も即日私の自宅にお越しいただき、ポケットマネーで多額の募金をいただきました。

小山市長の勇気と英断と実行力に改めて敬意を表すると共に、オイスカにとっても生産した農産物が未来を担う子ども達の成長に欠かせない学校給食に活用して頂けることは、オイスカに対して公の機関の間で大きな信頼をいただけたことに深く感謝を申し上げます。



(公財)オイスカ愛知県支部 会長 光岡 保之